

北海道土木技術会 コンクリート研究委員会
委員長 上田 多門

平成 29 年度 技術発表会 開催について

拝啓 貴下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度北海道土木技術会コンクリート研究委員会では、下記の通り技術発表会を企画いたしましたのでご案内申し上げます。

我が国では、高度経済成長期に建設された構造物が一斉に老朽化の時期を迎え、更新または補修等が必要になっております。一方で、持続的社会の構築を実現するため、コンクリート構造物の品質確保と生産性向上が強く求められております。このような状況に対応し、コンクリート構造物などの新設・補修・補強の設計・施工に関する内容および新たな技術・工法のご紹介等々を中心とした技術発表会を開催致します。今回の技術発表会は、建設コンサルタント・施工者などコンクリートに携わる方々にとって、技術交流及び研鑽の場となるよう企画いたしました。この機会にぜひ受講され、実務に役立てて頂ければ幸いです。なお、開催の詳細は下記のとおりです。参加希望の方は、別紙に必要事項記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。

尚、本技術発表会は土木学会継続教育（CPD）プログラムとして認定されております。

敬具

記

主 催 : 北海道土木技術会 コンクリート研究委員会
日 時 : 平成 29 年 11 月 21 日 (火) 13:00~17:10 (意見交流会 17:30~19:00)
場 所 : ホテルモントレエーデルホフ札幌 13F ベルヴェデーレ
(意見交流会 1F ワグナーハウス)
次 第 : 開会挨拶 13:00~13:05 コンクリート研究委員会 委員長 上田 多門

基調講演 13:05~13:45
演題 『維持補修に係る新技術と技術の標準化』
講師 北海道大学大学院 工学研究院 教授 上田 多門 (ウエダ タモン)

個別発表① 13:45~14:10 ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『サロマ湖に架かる湖口橋の解体工事報告』
発表者 ドーピー建設工業 (株) 加藤 友靖 (カウ トモヤス) 様

個別発表② 14:10~14:35 ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『有ヒンジ PC ラーメン橋の変状とその影響』
発表者 (株) 開発工営社 小林 克哉 (コバヤシ カツヤ) 様

個別発表③ 14:35~15:00 ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『連続繊維ロープの実橋脚への巻き付け施工試験』
発表者 CORDOY (コードイ) 研究会 木村 良輔 (キムラ リョウスケ) 様

休憩 15:00～15:15

個別発表④ 15:15～15:40 ※質疑応答（5分程度）を含む
題目 『次世代左官作業に向けた左官自動化機械「左官アシスト」の紹介』
発表者 (株)南組 南 真樹 (ミナ マキ) 様

個別発表⑤ 15:40～16:05 ※質疑応答（5分程度）を含む
題目 『既設PCT桁の水平力分担構造取付部材の提案』
発表者 (株)ビービーエム 植田 健介 (ウエダ ケンスケ) 様

個別発表⑥ 16:05～16:30 ※質疑応答（5分程度）を含む
題目 『過大なたわみが生じたPC橋梁の
長期変形解析に基づく構造性能の評価』
発表者 北武コンサルタント(株) 坂口 淳一 (サカグチ ジュンイチ) 様

個別発表⑦ 16:30～16:55 ※質疑応答（5分程度）を含む
題目 『道路橋床版を延命化する為の新しい排水装置の提案』
『自動車の走行環境を改善する段差をなくした
次世代型グレーチングの提案』
発表者 中大実業(株) 桑原 直樹 (クワハラ ナキ) 様

閉会挨拶 17:00～17:10

コンクリート研究委員会 技術情報小委員会 小委員長 鷲尾 亨 (ワシオ トオル)

参加人数 : 技術発表会 150名程度
意見交流会 50名程度 (どちらも予定人数に達し次第締め切らせていただきます)
参加費 : 技術発表会 : 無料
意見交流会 : 5,000円

申込み先 : 北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 技術情報小委員会 講演会担当
(株)川金コアテック 札幌営業所 榎 正二郎 (エノ ショウジロウ)
TEL : 011-241-3177 FAX : 011-241-3178 E-mail : maki@kawakinkk.co.jp

申込み締切 : 平成29年11月10日(金)

